

1912	大正1. 3.11	弥彦神社, 大火で焼失する。大正5年に再建される(⑦648)
	3.28	森正隆(秋田県知事), 新潟県知事となる(⑦437)
	3.31	県, 「荒廃林地復旧補助金交付規程」を制定する(⑦525)
	4	森知事, 県立学校長会議に臨み, 教育予算の大幅節減を示唆する(⑦440)
	4	西山油田に日本初のロータリー式削井機械導入される(⑦699)
	5.15	第11回衆議院議員総選挙。政友会7, 国民党6, 旧国権派1人当選する(⑦433)
	8.25	越後鉄道線(私設)の白山～吉田間が開通する(⑦558)
	11.15	森知事, 小千谷・糸魚川・巻中学校廃止等を含む緊縮型大正2年度予算案を発表する(⑦441)
	12.14	森知事の緊縮予算案をめぐり, 政友, 国民両派の対立が激化し, 県会で平松遮那一郎議長(国民党)が暴行を受ける(⑦444)
	12.23	伊沢多喜男(愛媛県知事), 新潟県知事となる(⑦445)
1913	大正2. 1. 7	北越文芸興隆のため, 式場麻青ら, 北人社を結成する(⑦812)
	2.12	立憲国民党新潟支部が解散し, 新党(立憲同志会)支部結成準備委員会を組織する(⑦447)
	2.23	佐渡商船株式会社(社長は土屋六右衛門)が設立され, 越佐航路で越佐汽船会社との競争が激化する(⑦570)
	3. 3	安藤謙介(長崎県知事), 新潟県知事となる(⑦445)
	4. 1	北陸線富山～直江津間が開通し, 北陸線全通する(⑦561)
	4.19	明治44年9月の選挙で当選した桜井庄平・岡田正平・池田正平の国民党3県議に当選無効の判決下り, 失格となる(⑦437・445)
	4	高田の第13師団, 満州守衛のため渡満する。大正4年帰国(⑦593)
	5. 9	県, 「染織奨励補助規程」を設け, 力織機設備の補助を強化する(⑦713)
	6	長岡信託株式会社設立される(⑦768)
	9.24	立憲同志会新潟支部を結成する(⑦448)
	11	阿賀野川北蒲原郡中蒲原郡両郡治水協議会を開催, 阿賀野川河身改修速成の推進を申し合わせる(⑦486)
	12	新潟産業資金株式会社設立される(⑦768)
		◇中蒲原郡沼垂駅裏に北越板紙株式会社設立される(⑦687)
1914	大正3. 2. 5	新潟市・沼垂町連合廃税同盟会主催の廃税市民大会が開かれる。この前後, 長岡・高田・柏崎・三条・新発田など県下各地で廃減税運動が起こる(⑦450)
	4. 1	新潟県染織講習所, 十日町に設立される(⑦713)
	4. 1	沼垂町, 新潟市に合併する(⑦549)
	4.25	県, 「新潟県秀才教育費貸与規程」を制定し, 県費による育英事業をはじめめる(⑦641 ⑧45)
	4.28	坂仲輔(石川県知事), 新潟県知事となる(⑦457～458)
	6.25	坂知事, 郡市長会議で郡市町村是の設定を訓示する(⑦459)
	7. 1	日本銀行新潟支店開業する(⑦761)
	7.24	県, 「新潟県染織試験場規程」を定め, 南蒲原郡見附町に試験場を設置する(⑦714)
	7.28	第一次世界大戦はじまる
	8. 3	日本石油, 本社を刈羽郡大洲村から東京に移す(⑦700)
	8	県是策定のための産業調査に着手する(⑦459)
	10. 1	頸城鉄道, 新黒井～下保倉間開通。大正5年5月浦川原まで全通する(⑦559)
	11. 1	岩越線(大正7年10月磐越西線と改称), 津川～野沢間が開通によって, 郡山～新津間全通する(⑦561)。同日, 羽越線新発田～村上間が開通し, 新津～村上間が全通する(⑦562)
	11.24	「新潟新聞」と「東北日報」対等合併する(⑦798)
	11	庶民金融を行う無尽会社, 県下に18社を数える(⑦768)

		◇燕の銅器製造業者、スプーン・フォーク等洋食器の試作に成功。大正4年には総額5万円の洋食器を輸出するまでに発展。昭和1年に燕洋食器工業組合設立される(⑧237)
1915	大正4. 3.25	第12回衆議院議員総選挙。政友会6, 同志会6, 中正会1, 中立1人当選する(⑦452)
	4.19	阿賀野川改修工事(国直轄)着工, 昭和8年竣工する(⑦486)
	4	五泉町の新潟県原蚕種製造所に長岡の農事講習所を移転, 併置する(⑦724)
	6. 5	栃尾鉄道, 栃尾～下長岡間開通する(⑦558)
	9. 2	県, 産業県是調査会の答申を受け, 「産業二関スル県是」を制定する(⑦460⑧24・155・173)
	9.25	県会議員選挙。同志会第一党となる(⑦453)
	11. 5	県会, 中学校教員の英・数・国漢担当196人に平均2円の昇給実施を決める(⑧44)
1916	大正5. 1. 5	長岡鉄道, 寺泊～西長岡間開通する(⑦558)
	1.29	県「新潟県米穀検査規則」を制定し, 生産米検査を開始する(⑦120・463・512・748)
	1	坂知事, 「青年団二対スル本県訓令」を発し, 青年団の行政村単位への整理統合を推進する(⑦620)
	2.14	破間川筋北越水力電気株式会社の発電所工事に伴い, 北魚沼郡須原村大字細野の村民ら, 漁業被害補償金を受ける(⑧190)
	2	坂知事, 第1回新潟県青年大会を開き, 優良青年団を表彰する(⑦621)
	3.31	県, 「新潟県山口奨学金貸与規程」を告示し, 募集を行う(⑦641 ⑧45)
	3	県, 『耕地整理ノ大要』を発行し, 県民に耕地整理事業への協力を要請する(⑧155)
	4. 1	新潟県種畜場が設置され, 畜産技術の普及が進む(⑧178)
	6. 2	北川信従(栃木県知事), 新潟県知事となる(⑦463)
	6	県, 郡市長会議で小学校教員給与の優遇を指示する(⑧44)
	10.23～24	新潟県治水調査会, この年1月県が作成した県下76河川の治水方針を了承し, 坂知事に答申する(⑦464)
	11.26	立憲同志会新潟支部, 大竹貫一(中正会)・斎藤喜十郎(交友倶楽部)を加えて, 憲政会新潟支部に改組される(⑦455)
		◇このころから, 県下の豚の飼育頭数が急増しはじめる(⑧177)
1917	大正6. 1.	ワイル氏病爆発的に流行。県, 諭告を発し, 県民に家屋の清潔, 飲料用水の注意, 耕作時の衣類着用を呼びかける(⑦468)
	2.1	新潟銀行, 第四銀行と改称する(⑦762)
	2	このころ, 友愛会大河津分会結成。同年6月新潟市山下新潟鉄工所内新潟分会設立, 労働者の組織化はじまる(⑧83)
	3.末	日本亜鉛株式会社, 中頸城郡名香山村田口で操業を開始する(⑦677)
	3	十日町に国立林業試験場直轄の森林測候所が設置される(⑦526)
	4.2	第13回衆議院議員総選挙。政友会7, 憲政会6, 国民党1人当選する(⑦455)
	9. 1	日本電気亜鉛, 中頸城郡中郷村で操業を開始する。大正7年7月亜鉛公害起こる(⑦677)
	10.14	新潟港の船舶接岸施設建設工事はじまる(⑦568)
	12.17	渡辺勝三郎(内務省地方局長), 新潟県知事となる(⑦469)
1918	大正7.1.7～8	沼垂銀行, 貸付回収不納金が多くなり, 取付けにあう(⑦765)
	1. 9	南魚沼郡三俣村で大雪崩が発生。死者158人の大惨事となる(⑧418)
	2.18	相馬御風, 『良寛和尚詩歌集』を刊行。ついで同年5月『大愚良寛』を刊行する(⑧507)
	3.29	県, 諸物価高騰のため県職員に対する臨時給与支給規程を設け訓令する(⑦857)

	3	日本電気製鉄株式会社設立される(白滝鉱山)(⑦689)
4.7~8		渡辺知事主催の新潟県戦後準備大会が開かれる(⑦469⑧23)
5.1		小学校教員の俸給を増額する(⑦857)
	5.26	江原小弥太、「越後タイムス」紙上に小説「新約」の連載をはじめる(⑧505)
	6	新潟県の耕地整理面積2万3721町歩に達し、全耕地に占める整理比率が全国中位となる(⑧157)
	6	新潟貯蓄銀行、不良貸付けが原因で臨時休業する(⑦765)
7.6		新潟市の改良座で救世軍新潟小隊の開戦式が行われる(⑧347)
	7.23	富山県魚津町の漁夫女房ら、米の移出中止を求め海岸に集まる。全国米騒動の発端(⑦835)
8.1		内務省主催の感化救済事業地方講習会が新潟市で開かれ、これを機会に、新潟県慈善事業協会が設立される。大正11年には、新潟県社会事業協会と改称する(⑧386)
	8.12	新潟市広小路に、願随寺の鐘を合図に市民の集合を求める貼り紙が張り出される(⑦842)
	8.16	新潟市、市内の米穀業者を集め、米の安売りを要請する(⑦845)
	8.16	中頸城郡長、管内町村長に多人数の屋外集会は相当期間延期とするよう秘密文書を送付する(⑦851)
	8.17	新潟市の米騒動、白山公園ではじまる(⑦836・844)。長岡市でも米穀商川上佐太郎宅(川佐)焼打事件起こる(⑦847)
	8.18	新潟警察署、市民に盆踊りと無用の夜間外出を禁じる(⑦851)
	8.21	新潟市の互救会、内外米の廉売を開始する(⑦851)。この前後、新津・直江津・新井・柏崎でも米の安売りを行う(⑦849)
	8.23	柏崎警察署、町内に警告書を張り出し、多数集合し暴行・脅迫した者は騒擾の罪として処分すると告げる(⑦852)
	9.29	原敬内閣(政友会)が誕生する(⑦854)
秋.		このころから翌8年にかけて、流行性感冒猛威をふるう(⑦468)
	11.11	第一次世界大戦終わる(⑧23)
	12.22	長岡天然瓦斯株式会社創立される(⑦794)
		◇日本石油と宝田石油、海軍省の委託を受け、台湾で油田の試掘をはじめる(⑦703)
1919	大正8.1.4	岩船郡関谷村畑銅山の鉱夫ら150人余、待遇の粗悪をいきどおり、所長役宅等の破壊を企てる(⑧84)
	2	斎藤正直、新潟市に音楽研究所「如月会」を創設する(⑦822 ⑧490)
	2	新潟市に普選期成同盟会が結成される(⑧72)
	3.25	坂口五峰(仁一郎)の『北越詩話』2巻が刊行される(⑦631)
	3.28	県、「蚕繭取引市場奨励規程」公布する(⑦722)
	3	佐渡銀行、不良貸付けが原因で預金取付けにあう(⑦765)
	4.14	新潟高等学校の新設が決まる。6月1日開校(⑧29・50)
	4.18	太田政弘(熊本県知事)、新潟県知事となる(⑧25)
	5.15	北蒲原郡下の小作人816人、生産米検査に伴う増米廃止を求め同郡地主会に請願する。7月20日紫雲寺村ほか9か村の小作農民1500人も、奨励米制度の改正を掲げ請願する(⑦734・752)
	5	弥彦神社に広さ7400坪の陸上競技場が完成する(⑧518)
	6.14	中蒲原郡金津村の富豪中野貫一の寄付を基礎に、中野財団が創設される(⑧46・386)
	6	大倉製糸株式会社、北蒲原郡新発田工場で操業を開始、大正9年5月に開業式が行われる(⑦717)
	7	臨時県会、県吏員と中学校教員に対し、それぞれ3割5分と4割の臨時手当の支給を決める(⑧44)
	8.8	県内最初の乗合自動車、中魚沼郡下船渡村大割野～岩沢間で運転を開始する(⑧533)
	8.17	南魚沼郡塩沢町の製糸女工150人、マユの賃引上げを要求する(⑧84)

	9.25	県会議員選挙。政友会過半数占める(⑧58)
	10.24	県、「輸出綿織物検査規則」を設ける(⑦713)
	11. 2	沼垂丙辰会・公友社、吉野作造と福田徳三を招き、普選・労働問題講演会を開く(⑧68)
	12. 3	刈羽郡高浜町漁業組合、日本石油の油田鉱液により漁業被害を受け、改善のため県に技師派遣を要請する(⑧190)
	12	中村和作、新潟新聞社に入社。論説で普選論を唱導する(⑧66)
	12	新発田貯蓄銀行が、新潟貯金銀行と改称する(⑦767)
		◇日本石油・宝田石油、三菱などととも5社共同出資の北辰会を組織し、北樺太の油田開発をはじめる(⑦703)
		◇小千谷町に桑樹雪害試験所(大正11年桑樹試験場と改称)が設けられる(⑦725)
		◇大正4年からこの年までに、新潟県の農業生産総額がほぼ4倍に増加する(⑧4)
		◇県、「漁業奨励資金貸付制度」を設ける(⑧187)
		◇県下の金物生産額、700万円前後と増大する(⑧235)
1920	大正9. 2. 1	中野友礼、日本曹達を創立し、中頸城郡中郷村二本木で操業を開始する(⑦678 ⑧538)
	3.29	新潟市改良座で、新潟自由労働組合の発会式を開く(⑧83)
	4. 1	道路法施行により、県下153線が県道に認可される(⑧28)
	4. 4	憲政会新潟支部大会開催。普選実行を決議する(⑧75)
	4. 6	新発田町で農村革新会(会長須貝快天)の発会式行われる(⑦752)
	4. 8	不況のため、見附織物同業組合、この日から12日まで5日間、25日から31日まで同盟休機を実施。五泉織物同業組合も4月15日から8月31日まで同盟休機を行う(⑧230)
	4.25	新潟銀行亀田代理店で取付け騒ぎが起こる(⑧249)
	4.29	県下染織同業組合連合会を開催し、日本銀行新潟支店ほか県内主要銀行に救済融資を求める(⑧251)
	5.1	第14回衆議院議員総選挙。政友会10、憲政会4、国民党2、中立1人当選する(⑧59・75)
	5	新潟県預金利率協定加盟銀行会設立される(⑦766)
	7.11	黒埼商会、新潟～大野間に乗合自動車の運転を開始。大正11年には、新潟市街自動車も運行を開始する(⑧533)
	9.17	県、「漁業取締規則」を改正、機船底曳網漁業の漁区を海深40尋以上とする。漁民の反対により60尋以上と改める(⑧188)
	9.2	県下各警察署に人事相談所と職業紹介所が設置される(⑧33・388)
	10. 1	新潟市の健康社、社名を新潟臨港株式会社と変更、臨港開発に取り組む(⑧180・529)
	11. 3	大日本機関車乗務員会新津支部結成。「新津事件」起こる(⑧84)
	11	柏崎の越後タイムス社、新婦人協会の平塚らいてふ・山田わかを招き、思想講演会を開く(⑧68)
	12.18	新潟市鏡淵小学校教師田中惣五郎・野口伝兵衛ら、無明会を結成する(⑧67)
	12.25	北魚沼郡広神村で「米投売防止組合」を設立する(⑦756)
	12	太田知事、「本県実業補修教育是」を公布する(⑧48)
		◇県政に社会教化策・社会政策の導入がはじまり、大正10年度から郡市に社会教育主事が1人ずつ置かれる(⑧33)
		◇第一次大戦後の恐慌により、絹綿交織物の前年比生産額が49パーセントになるなど県下産業が大打撃を被る(⑧229)
1921	大正10. 4. 1	中蒲原郡白根郷に白蓮郷小作組合設立される(⑧3・108)
	4.1	新潟県購買販売連合会設立。ついで9月5日新潟県信用組合連合会が設立され、産業組合事業が拡張しはじめる(⑦758 ⑧227)
	4.11～12	市制・町村制改正。町村の「等級選挙制」撤廃し、市を「二級選挙制」とする。翌年、改正制度による選挙を実施(⑧35)

	4	県、「自作奨励金貸付規定」を制定，自作農の創設をはかる(⑧145)
	5.17	北蒲原郡水原郷に蒲原小作組合設立される(⑧3・108)
	5	新潟市に公有林野官行造林署が設置される(⑦525)
	6	新潟県水産試験場，佐渡郡両津町湊に佐渡分場を新設し，漁労・製造・養殖等の調査研究をすすめる(⑧186)
	7.23	新潟銀行，兼営していた貯蓄銀行業務を分離し，新潟興業貯蓄銀行を設立する(⑧254)
	8～10.	このころ，発動機船と沿岸漁業者との紛争多発。県と警察，巡邏船を仕立て取締りを強化，違反船を摘発する(⑧215)
	9. 5	中蒲原郡白蓮小作農会，小作料減免争議を起こす(⑦735)
	9.16～17	第3回青年大会で，県連合青年団の設立が決まる(⑦627)
	10. 1	日本石油と宝田石油合併する(⑦704)
	10. 7	新潟高等学校教授を中心に，新潟文化学会が結成される(⑧67)
	10.11	政府，「府県税戸数割規則」を制定。翌年度より全国一律の規準により賦課される(⑧31・37)
	10.14	県下貯蓄銀行を再編し，新潟合同貯蓄銀行と長岡貯蓄銀行(11月開業)を新設する(⑧253)
	11	金沢で北陸4県青年党連盟大会開かれる。三島倶楽部・長岡革新会・北魚沼郡青年会・刈羽郡青年会から合計12人が参加する(⑧11)
	12. 7	中小製油業者，石油共同販売所を設立，共同で外国原油の輸入と精製をはじめ(⑦705)
	12.21	電気化学工業，西頸城郡の青海工場で操業を開始する(⑦684)
	12	無明会機関紙『無明』，出版法違反に問われ，全冊押収される(⑧70)
		◇新潟県下のデモクラシー運動，このころもっとも高揚する(⑧69)
1922	大正11. 1.16	南蒲原郡井栗村に，井栗小作組合誕生する。小作料軽減を求め，活動を開始する(⑧113)
	2. 3	北陸線市振・親不知間の勝山トンネル西口で，列車に雪崩が落下，即死者88人を出す(⑧419)
	2.11	県，県庁内に社会課を新設，社会事業に関する事務を主管する(⑧33・387)
	4. 1	官立新潟医学専門学校が昇格，新潟医科大学となる(⑧29・50)
	4. 1	長岡市の県農事試験場園芸部，北蒲原郡京ヶ瀬村七島に分離移転，本格的な園芸の技術研究指導はじまる(⑧174)
	5. 5	佐渡鉱山で労働争議が起こり，11日間同盟罷業が続く(⑧85)
	5. 7	佐渡鉱山に総同盟相川支部が結成される(⑧83)
	6	生産米検査制度改正，検査強化される(⑦753)
	7. 2	無明会と新潟文化学会が合同，社会主義団体「創生会」が結成される(⑧71)
	7.29	中津川水力発電所建設工事に従事する朝鮮人労働者虐殺事件(中津川事件)が表面化する(⑧774)
	8.25	大河津分水路が完成し，通水をはじめ(⑧157)
	8.25～27	北魚沼郡堀之内町で「魚沼夏期大学」が開かれ，土田杏村を講師として招く(⑧81)
	9. 2	北蒲原郡安田村の村民大会，改正戸数割負担の公平と無産階級の負担減を要求する決議文を採択する(⑧39)
	9.18	新潟県農工銀行が日本勧業銀行に合併，日本勧業銀行新潟支店となる(⑧255)
	9.19	水原農家親睦会が小作料減免を関係地主に要求，水原町小作争議の発端となる(⑧109)
	10.27	新潟県立憲青年会連盟発足，婦人参政権を含む普選断行を決議する(⑦628 ⑧11・76)

	11.1	農村革新会, 下越農民協会と改称。生産米検査制度改正に伴う負担増分の米三升を, 地主に要求することを決議する(⑦753 ⑧78・131)
	11.15	太田知事, 県会で緊縮型予算編成に転換する方針を示す(⑧33)
	11.23	北蒲原郡木崎村に笠柳・横井小作組合設立, 木崎村小作争議はじまる(⑧119・150)
	12.2	北蒲原郡の大地主が結集, 小作争議対策機関として北蒲原郡協和会を設立する(⑧131)
	12.23	北蒲原郡中条郷の小作農民約2000人, 三升米補償を要求し, 関係地主宅に押しかける(⑦754)
		◇新潟県内で50町歩以上を所有する地主数262人, その耕地面積が3万9207町歩(全体の16パーセント)にのぼる(⑦106)
1923	大正12. 2.22	五泉町の原蚕種製造所, 蚕業試験場と改称する(⑦724)
	2.24	高田で普選即行賛成記者団主催の大会が開かれ, 上越普選同志会の結成を決議する(⑧77)
	3. 2	日本銀行新潟支店, 県下の銀行に対して, 銀行合同の交渉を行うよう指示する(⑧257)
	4. 1	郡制が廃止される。郡営諸事業の県・町村または町村組合への移管はじまる(⑧32・40)
	4. 5	県, 県内銀行代表者を招き, 銀行合併に関する会議を開催する(⑧257)
	4.28	革新会(旧国民党頸城支部), 国民党の解散に伴い革新倶楽部頸城支部に改組する(⑧58)
	5.12	新潟臨港株式会社の築港工事はじまる(⑧529)
	6.16	小原新三(和歌山県知事), 新潟県知事となる(⑧25・34)
	6	北蒲原郡水原町で町民大会。地主専横の町政に反発, 町政の革新を呼びかける(⑧39)
	7. 5	第2回新潟県立憲青年会連盟大会, 柏崎で開かれる(⑧79)
	8.6~8	北魚沼郡堀之内町の夏期大学を「魚沼自由大学」と改称し, 高倉輝らを招いて開催する(⑧81)
	9. 2	新潟米穀取引所, 関東大震災の影響で2日から3日間, 11日から20日まで立会いを停止する(⑧226)
	9.25	県会議員選挙。政友会過半数を占める(⑧60)
	10	五泉~村松間に蒲原鉄道(電気鉄道)が開通する。昭和5年, 加茂まで延長する(⑧527)
	11.3~4	東京駒場で開かれた全国中等学校陸上競技大会で, 新潟師範学校陸上競技部が初優勝する(⑧518)
	11.2	三島郡王寺川村王番田に王番田小作団が結成される(⑧152・314)
	11.22	北蒲原郡協和会を基礎にして, 全県の地主組織として新潟県農事懇話会を設立する(⑧136)
	11.23	木崎村農民組合連合会結成。26日, 連合会, 関係地主70人余に対し要求書を提出。翌1月中に真島桂次郎ら一部地主を除き, 連合会の要求を容認する(⑧122)
	12.16	渡辺泰亮, 南魚沼郡伊米ヶ崎小学校区で「八海自由大学」を創立する(⑧82)
	12.末	県下の力織機数1万3400台と頂点に達し, 手織機数を凌駕する(⑧232)
		◇新潟県養鶏組合連合会設立される(⑧182)
1924	大正13.2.16~17	第2回全日本スキー選手権大会が高田のレルヒコースを中心に開催され, 新潟県選手が活躍する(⑧520)
	2.17	政友会新潟支部からの脱党者, 政友本党新潟県支部を結成する(⑧65)
	2	新潟臨港株式会社, 亀田~沼垂間に臨港鉄道を敷設する(⑧529)
	3. 2	政友会脱党中立派と革新倶楽部・中立派が中正倶楽部を組織する(⑧65)

	3. 5	北蒲原郡濁川村真島桂次郎ら8人の地主、小作料未納の木崎村小作人に対し、耕地立入禁止の仮処分を申請する(⑧122)
	4. 1	長岡高等工業学校が開校する(⑧29・51)
	4.上	電気化学青海工場の労働者、幸友会を結成。5月24日、日本労働総同盟青海支部を設立する(⑧83)
	5.1	第15回衆議院議員総選挙。憲政会9、政友会3、中立3、政友本党1、革新倶楽部1人が当選する(⑧58・65)
	5.14～28	地主真島桂次郎ら、小作人を相手どり、「耕作禁止・土地返還並二小作料請求」の本訴を提起、木崎争議長期戦に入る(⑧124)
	5.2	電気化学青海工場で、大規模な同盟罷業が起こる(⑧87)
	6.24	県下の野菜採種組合が連合し、「新潟県蔬菜採種組合連合会」の創立総会が行われる(⑧174)
	6.28	無産階級の政治的統一組織をめざし、政治研究会が発足。新潟、新発田など県下6か所に支部を設置する(⑧374)
	7.31	村上～鼠ヶ関間の鉄道が開通、羽越線全通する(⑦562 ⑧522)
	9. 5	小原知事の諮問機関として、新潟県農政調査会を設置する(⑧141)
	9	「地方官官制」改正により、県庁に小作官・小作官補が各1人置かれる。大正15年、小作官2人に増員となる(⑧42)
	10. 8	中頸城郡金谷村長保科保太郎、県町村会長に手紙を送り、地方自治を阻害する郡役所の廃止実現に助力するよう求める(⑧42)
	10.25	婦人矯風会新潟支部、新潟高等女学校講堂で発会式を挙げる。また、同月には、郭清会長岡支部も発足する(⑧347)
	10	小原知事、農政調査会の決議を受け、「地主小作協調に関する飛檄」を告示する(⑧143)
	11. 3	新津高等女学校バスケットボール部、第1回明治神宮体育大会で優勝する(⑧515)
	11.23	日本農民組合関東同盟新潟県連合会(日農県連)の創立大会を新発田町朝日座で開く(⑧118)
	11	新潟市に職業紹介所が設置され、以後、職業紹介事業が本格化する(⑧389)
	12.16	下越農民協会(中条郷小作人協会の後身)を改組し、北日本農民組合連合会が発足する(⑧119)
		◇県に水稻品種査定会を設置、奨励品種の決定と優良品種普及の方策を審議する(⑧168)
1925	大正 14. 2.14	新潟師範学校生徒ら、労働奉仕により全国に類をみない雨覆いトラックを完成する(⑧519)
	2.15	新潟県農事懇話会、小作地紛争関係訴訟の審理促進について司法大臣に請願する(⑧137)
	2.18	大河津分水完成に伴い、寺泊港の埋没深刻化。寺泊町町民大会が開かれ、寺泊港の修築速成を決議する(⑧216)
	3. 4	県招集の銀行者協議会が開かれ、県下各銀行の配当率引下げを協定する(⑧259)
	3	県営の白根郷用水改良工事はじまる。昭和4年竣工(⑧160)
	3	新潟市の都市計画が認可される(⑧394)
	4.1	長岡市で普選祝賀大会が開催される(⑧80)
	5. 1	軍縮により、高田の第13師団廃止される。村松の歩兵第30連隊を高田に移す(⑦594)
	5	村田文三、初めて「佐渡おけさ」をレコードに吹き込む(⑧489)
	9.1	新潟市山ノ下の名古屋紡績工場の紡績工71人、賃上げ等を求めストライキを行う(⑧84)
	10. 6	水原町農家親睦会が起こした小作争議の調停が成立。小作人側の要求ほぼ貫徹する(⑧111)
	10.18	三松武夫(山口県知事)、新潟県知事となる(⑧25・361)
	10	新潟劇場で、県下初のトーキー映画を上映する(⑦820)
	11	新潟臨港の築港工事竣工する(⑧529)

	12.13	須貝快天, 無産政党に対抗し, 北日本農民組合の政治組織として立憲農民党を結党。翌年12月には日本農民党県連合会に改組される(⑧375)
	12	新潟県地主団, 小作争議の取締り強化を陳情する(⑧138)
		◇新潟県の県外出稼ぎ女工, 7万1542人を数え, 県外出稼ぎ女工数で全国一となる(⑧285)